

1. 特別養護老人ホーム

週	課題（ねらい）	実習内容	段階	指導上配慮すること・必要な価値・知識・技術（その他、参考となるテキスト・教材等）
第1週	<p>実習施設がどのような役割を果たし、そこで暮らす方々の様子や関わる職員について知る。</p> <p>①施設の概要と、各職種の役割を理解する。 ②施設運営の仕組みを知る。 ③利用者の1日の過ごし方及び他職種の連携、関わりを知る。 ④特別養護老人ホームの生活相談員の主な仕事を知る。</p>	<p>①・介護保険施設の他、高齢者施設について、それぞれの違いを調べる。 ②・施設運営（財源）について説明を受ける。 ③・利用者や職員の1日の過ごし方を体感する。 ・異職種間の協力の仕方を、自己の観察や考察結果と実際の違いをインタビューで確認する。 ④・計画書を見ながら説明を聞き、次週からの職種体験で更に掘り下げていくことをイメージする。</p>	<p>職場</p> <p>職種 職場</p> <p>職種</p>	<p>・新職員オリエンテーション資料、重要事項説明書を使用。法律や制度の大きな仕組みを説明する。 ・実習目標や課題を明確にさせる。 ・現場体験を通して、礼儀、コミュニケーション、想像力、構成力を養う。 ・相談員業務説明書、職務分掌表を使用し、各職種の専門性を説明する。</p>
	<p>施設の相談員業務の大枠を知り、施設内で相談員の果たす役割について理解できる</p> <p>①相談員業務に同行する。 ②施設内の巡回や介護体験により、利用者のニーズをキャッチできる。 ③権利擁護・身体拘束・倫理について考える。 ④利用者の生活はチームで支えていることを理解し、専門的見地から考える事ができる。</p>	<p>①・予定外の外出や来園対応、資料作成なども含み、相談員と可能な限り行動を共にする。 ②・巡回や介護体験、記録の確認、申し送りの内容をもとに、利用者の抱える不安や悩み、希望をくみ取る。 ③・実習生が考える権利擁護・身体拘束・倫理などについて尋ね、具体例を挙げて正確な理解に繋げる。 ④・カンファレンスに参加し、他職種と一人の利用者の生活を多方面から支える方法を共に検討する。</p>	<p>職種</p> <p>職種</p> <p>職種</p> <p>職場 職種</p>	<p>・表現力、観察力、分析力を養う。（記録・面接技術・企画の方法） ・施設内研修資料（高齢者の心身の特徴・高齢者の権利擁護関係） ・自分の考え、意見を伝える練習（言葉を正確に理解する／大勢が同じ様に理解できる言葉で表現する） ・カンファレンスの意義、目的の理解に繋げる</p>
第3週 4週	<p>利用者の真のニーズと支援者の思いのズレを正當に把握し、本當に必要な支援とは何かを考えて実施することができる</p> <p>①ケアプランの一連の流れを把握する。 ②相談員は情報の集約点であることを知り、必要な情報を各部署へ伝達する。 ③教育機能（人材教育）について考える。 ④家族との関わりや支援について考える。</p>	<p>①・対象者を決め、アセスメント・介護計画の作成に携わる（実際に計画作成実施） ②・得た情報が常に正確とは限らないことを踏まえて、他職種が正確に理解できる伝達・確認方法を学ぶ。（相談員業務同行中に実施） ③・職員研修、ミーティング、個別相談時における職員教育方法を体験する。 ④・家族が抱える不安や要望への対応を書類・説明で理解する。</p>	<p>SW</p> <p>職場 SW</p> <p>職種</p> <p>職種</p>	<p>・アセスメント、ケアプラン作成の過程をケアマネージャーからの講習で理解する。 ・施設内の記録物及び連絡の伝達について施設内記録物を元に説明する。 ・各種会議への参加、見学者や相談者への対応に同席。相談員の関わり方や視点を実習生なりに整理する。 ・苦情、相談対応方法を相談員日誌、記録物を基に説明する。</p>
	<p>ソーシャルワークについての考えが確立し、自らの課題、目標を明確にする。</p> <p>①プライバシー保護や諸手続き、及びそれらに伴う支援を知る。 ②施設内の課題や改善点を投げかける方法を考える。 ③ケアプランを実施し評価する。 ④専門職の役割を明確にし、自身の実習を振り返って総括する。</p>	<p>①・諸手続きや支援の仕方を体験する。（相談に同行） ②・日頃の介護場面、巡回時の様子、利用者や家族の声等から把握した課題や改善点を、ミーティングや各会議、施設内巡回時などに投げかける。 ③・3週目に立案した介護計画を実施し、支援経過を記録した結果を基に評価を行う。 ④・ソーシャルワーカーと生活相談員の業務は必ずしも一致しない事を知り、自分に必要な知識や技術、今後の課題を明確にする。</p>	<p>SW</p> <p>職場</p> <p>SW</p> <p>職種 SW</p>	<p>・各種手続きに同行し、制度の仕組みなどを具体的に理解する。 ・課題や改善点を見極める視点、考え方を説明する。直接現場に投げかけられない場合は相談員へ報告。 ・ケアプランは一人ではなく、みんなで実施する事を理解する。 ・実習期間中の総まとめとして最終2日は振り返りに重点を置く。</p>